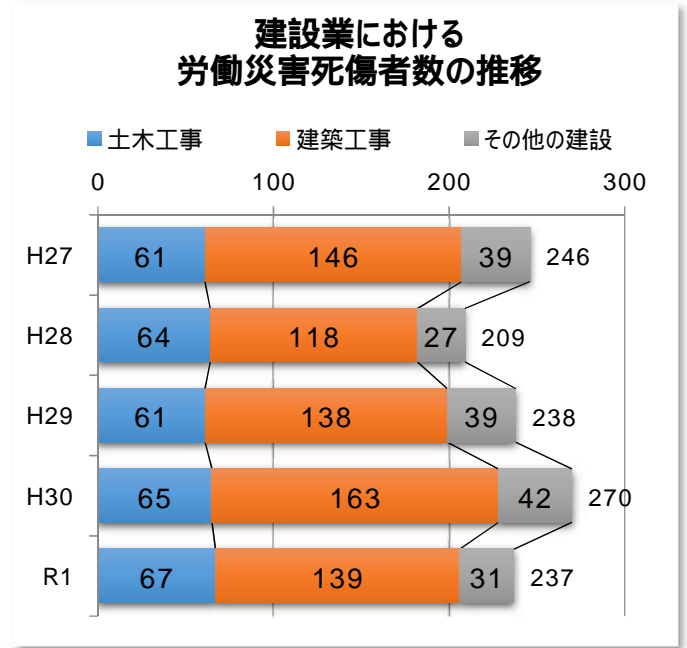
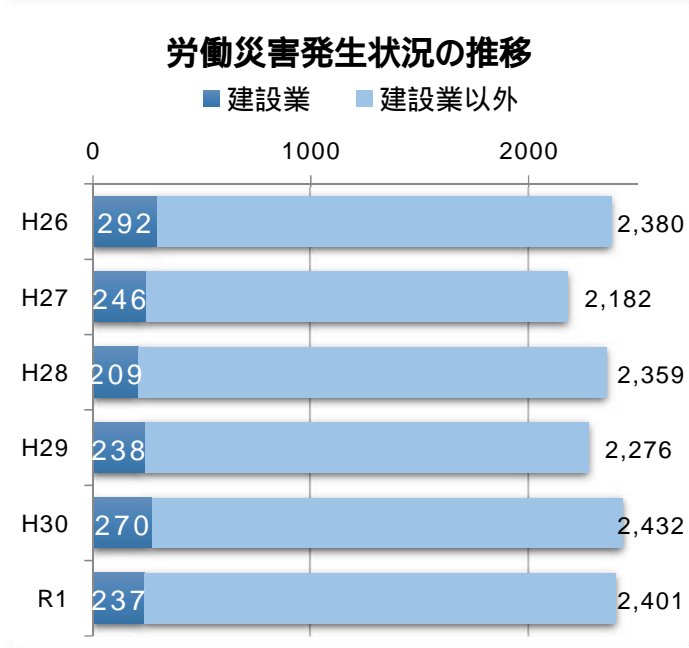


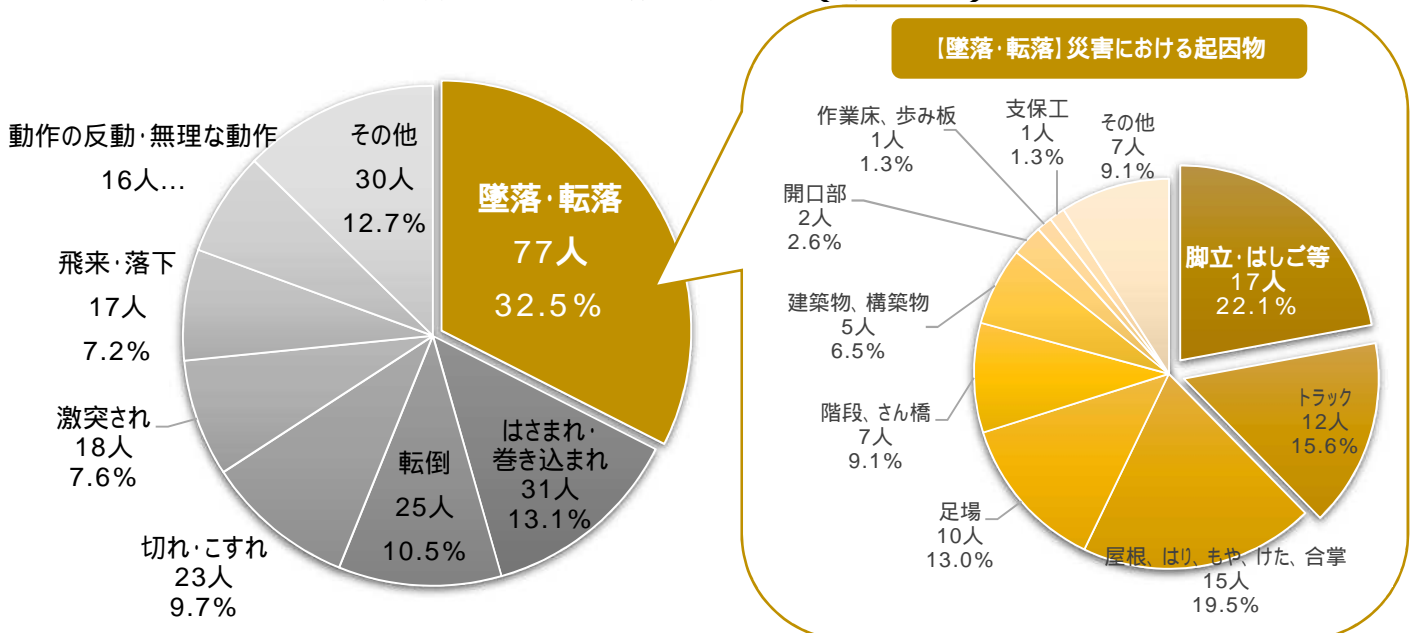
建設業の労働災害発生状況(令和元年)

令和元年における労働災害による休業4日以上の死傷者数（以下「死傷者数」という。）は、全業種では前年比で1.3%減少し、建設業における死傷者数は33人減少（減少率12.2%）となりました。

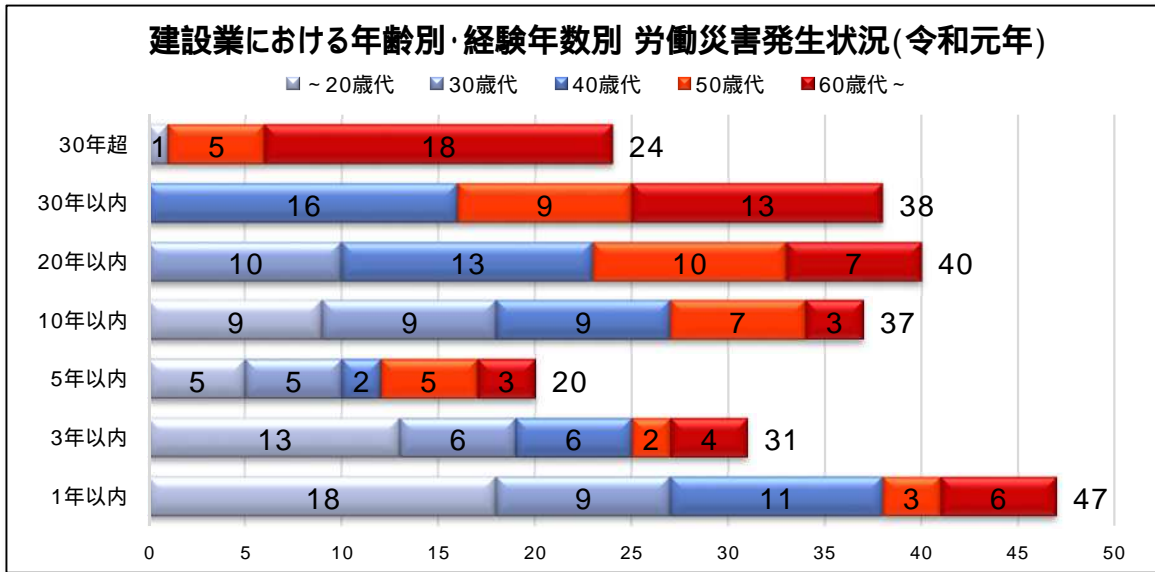


建設業における死傷者数を事故の型別で見ると「墜落・転落災害」が最も多くなっています。また、墜落・転落災害を起因物別で見ると「はしご等（はしご、脚立、作業台など）」の災害が多く発生しており、安全を確保した上で、はしご等を適切に使用することが重要といえます。

建設業における事故の型別割合（令和元年）



令和元年の建設業の死傷者数を経験年数別でみると「経験年数1年以内」が最も多く、年齢別でみると「50歳以上の高年齢労働者の割合」が高くなっています。



建設業における死亡災害発生状況

令和元年の群馬労働局管内の建設業における死亡者数は、統計を取り始めてから初の**ゼロ**となりました。

ゼロ災害
ヨシ!



【参考】令和元年の建設業における重症度の高い災害事例（資料：労働者死傷病報告）

番号	発生月	年齢・性別	災害のあらまし	発注者	事故の型別	起因物別
	発生時間帯	職種				
	店社/現場人数	経験期間				
1	1月 13時頃 30人	60歳代・男 現場代理人 13年	作業者がコンクリート打設後の養生を行うため、バックホウで練炭とブルーシートを運搬していたところ、機械と法面の間を歩行中の被災者に気づかず轢過した。	国	はさまれ・巻き込まれ	掘削用機械
2	1月 14時頃 120人	30歳代・男 通信工 7年	高所作業車の荷台から降りる際、足を地面についた際に負傷した。	民間	激突	高所作業車
3	5月 14時頃 5人	40歳代・男 土木作業員 17年	現場の天井裏で点検通路用足場敷込作業中、高さ約5mの足場から落下した。	民間	墜落・転落	足場
4	8月 9時頃 15人	50歳代・男 運搬業者 1か月	現場でトラックの荷台に建築破材の積み込み作業中、荷台から降りる際にバランスを崩して転落した。	民間	墜落・転落	トラック
5	10月 11時頃 6人	40歳代・男 塗装工 20年	現場で塗装作業中、降雨のため屋根の養生を取りに行った際、足元が滑り屋根から転落した。	民間	墜落・転落	屋根
6	10月 10時頃 4人	60歳代・男 大工 30年	屋根の上で太陽熱温水パネルの撤去作業中、固定していた荷下ろし用のロープが外れ、屋根から転落した。	民間	墜落・転落	屋根
7	11月 14時頃 17人	20歳代・男 設備エンジニア 4年	現場へ向かってワンボックス車で国道を走行中、対向してきたトラックが車線からはみ出して、正面衝突した。	民間	交通事故（道路）	トラック